

# JCNE助成金活用セミナー

## 「助成金が決まったら・・・」

### 【ダイジェスト版】

(一財) 非営利組織評価センター 山田泰久  
Twitter : @canpan2009  
<http://www.facebook.com/yamadamay>

2022年4月Ver.01

# 非営利組織評価センター（JCNE）

---

2016年4月1日、全国の非営利組織の評価を行うことで信頼できる組織の情報を広く社会に発信し、支援環境の充実に寄与するために非営利組織評価センター（JCNE）を設立しました。

チャリティの歴史が長い諸外国では、第三者である評価機関が寄付等を受けて活動する団体の運営状況を評価認証し、結果を公開しています。日本でも同様の非営利組織の評価が必要な時期になりました。

この非営利組織評価センターは民間セクターの手で作りたいという願いから、多くの団体に設立のご支援をいただきました。株式会社をはじめ助成財団、NPO、一般法人といった多様な設立発起人からのご出捐。そして賛同パートナーである助成財団からの応援を得ています。さらに5年後の自立を目指し事業運営には日本財団の助成をいただいています。

## 組織マネジメントに関する第三者評価



# グッドガバナンス認証

---

JCNEの独自の評価基準に基づき、専門の評価員が団体を訪問し、ヒアリングや書類確認によって組織運営の状況を評価しています。その評価結果をもとに、非営利組織の中でも組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの団体を認証しています。グッドガバナンス認証団体は外からは見えにくい組織内部の状況を第三者機関に開示して、信頼性・透明性の向上に努めている団体です。また、課題がある場合も見直し、改善をしていく姿勢や意欲のある団体でもあります。寄付をしたい、ボランティアとして参加したいという市民や企業の方が、期待をかけて支援ができる団体として紹介しているのが「グッドガバナンス認証団体」です。

[https://jcne.or.jp/evaluation/good\\_governance/](https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/)



グッドガバナンス認証

# ベーシックガバナンスチェック

---

JCNEの独自の評価基準に基づき、団体運営の基本についてセルフチェックと提出書類をもとに簡易的に評価をしています。評価結果は「ベーシックガバナンスチェックリスト」で公開され、随時更新されます。継続的に第三者評価を受け、情報開示に積極的な透明性の高い団体として、JCNEは掲載団体への支援を推奨しています。

ベーシック評価基準23項目に基づく簡易的な組織評価です。

<https://jcne.or.jp/evaluation/outline/>

# 本日も話すること

---

4月は昨年秋に助成申請を行った事業の助成金が決まって事業を開始するタイミングです。その時に、どんなことをすればよいのか、何に気を付けなければいけないのか、助成金だからこそ取り組んだ方がよいことは？など、考えなければいけないことばかりです。

そこで、団体や事業を成長させるための助成金の活用という観点から、助成事業開始時にやるべきことをお伝えいたします。助成金を活用することで、どのように組織基盤強化につなげていくことができるのかを学ぶことができます。

第1部：助成金の活用(40分)

第2部：ベーシックガバナンスチェックのご案内(10分)

第3部：質疑応答

# お話しをする前に・・・①

助成金に関する基礎知識は、以下のページの掲載資料参照

<http://blog.canpan.info/c-koza/archive/517>



## 【基本】初級～上級

### 1. 助成金の全体像を把握する

助成金の活用2014\_セミナー資料\_基礎編.pdf

### 2. 助成金というものがどういうものか、その基本を知る

助成金セミナー基礎編\_日本財団荻上.pdf

### 3. 助成金申請から事業報告まで、助成金に関する一連の流れとやることを学ぶ

助成金活用マニュアル\_日本財団荻上.pdf

## 【応用】中級～上級

### 4. 助成金を活用するという視点で、あらためて助成金の可能性について学ぶ

助成金の活用2017\_セミナー資料.pdf

### 5. その他、申請から事業実施まで、助成金について参考なると情報を知る。

助成金の活用2014\_参考資料.pdf

## お話しをする前に・・・②

---

助成金について学ぶために参考になるサイトや資料など

### 1. (独法)福利医療機構 WAM助成

<https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>

助成金に関するノウハウ集や事業評価報告書など参考になる資料が豊富

### 2. あいちモリコロ基金の調査・評価(基金の運営&助成活動の成果)

[https://www.morikorokikin.jp/7\\_chosa/chosa.html](https://www.morikorokikin.jp/7_chosa/chosa.html)

10年間の助成プログラムの総括報告書が助成金の考え方を学ぶのに最適

### 3. IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

ソシオ・マネジメント第4号「成果を最適化するための助成プログラムのコミュニケーション調査」

NPOマネジメント(バックナンバー)

<http://blog.canpan.info/npomanagement/>

ソシオ・マネジメントは助成財団向けの内容だが、助成金をさらに詳しく学びたい方にお薦め。

# 助成金が決まったら・・・

---

## ①助成金の意義と役割

### ①助成金のルール

- ・お金の管理の仕方

### ②団体内部での事業体制

### ③事業報告書の様式から考える助成財団の期待

### ④事業成果を意識した事業の準備

（事業評価のスキームを利用する）

### ⑤事業を始める前に現状確認

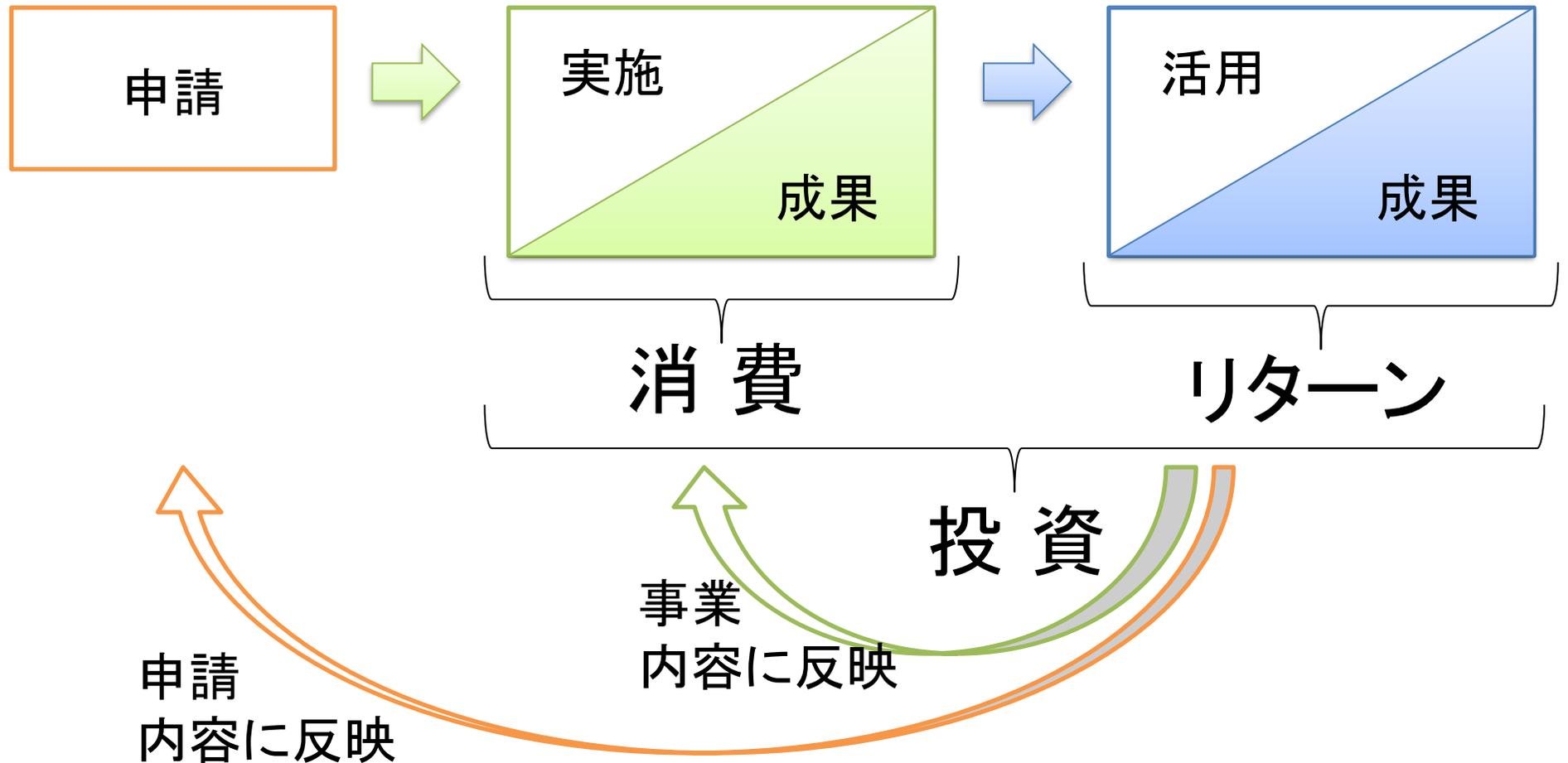
### ⑥事業完了後を意識した事業構築

### ⑦助成事業を広報に活用する

### ⑧助成財団とのコミュニケーション

# 助成金の活用

社会課題の解決の一助になることと、持続的に事業や組織を発展させていくことを目指して、助成金＋様々なリソースを投入すること



# NPOの資金調達

事業内容によって適している資金調達がある

- ①今の活動にフォーカスして集める寄付
- ②今後の発展を計画して申請する助成金
  - ・助成金があるうちに継続できる体制、ビジネスモデルを構築する
  - ・助成金で試してみる(仮説検証をして、成果を生み出し、実績を作る)

## 継続性資金

自治体等の制度的な補助金や、企業や個人の寄付等

受益者数や地域の変化などの成果が目標

成果を出し続けることで、継続的な支援が得やすいお金

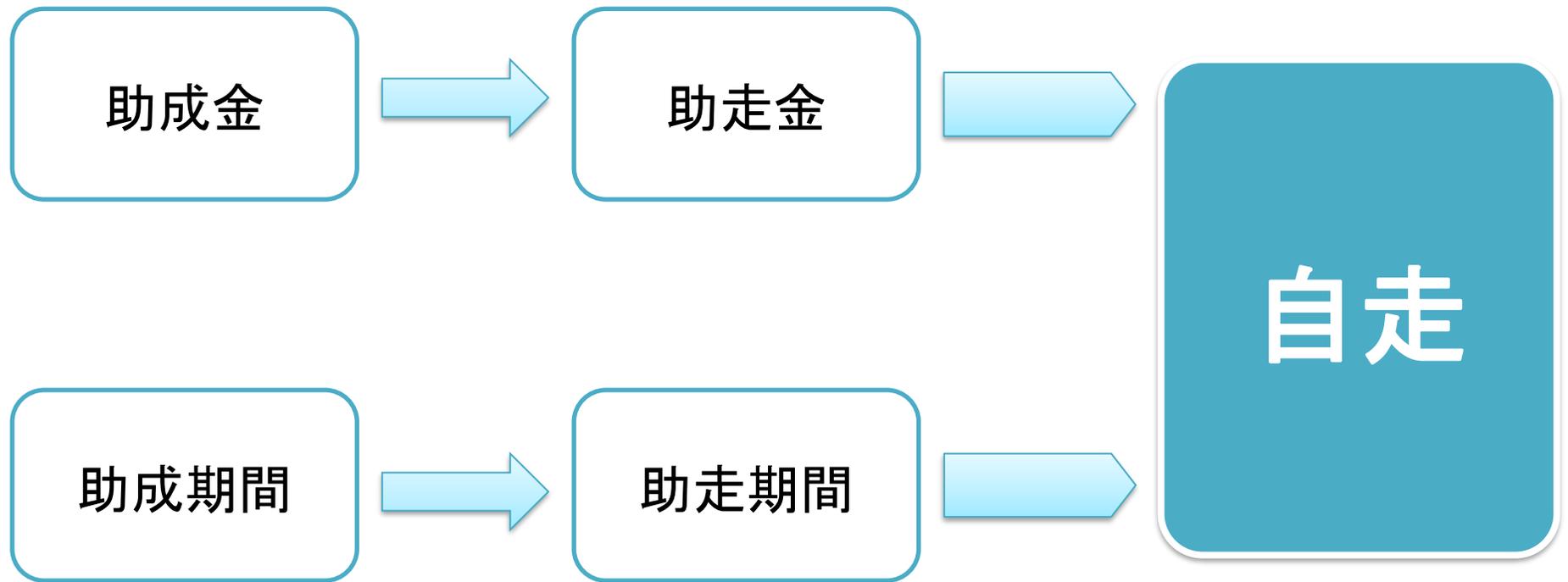
## 単発性資金

民間の助成金や省庁の補助金、クラウドファンディング等

仕組みやハード、モデル事業などの「残るもの」が目標

よい成果を出しても、性質上、継続的な支援が得にくいお金

# 助成金のイメージ・チェンジ



助走というプロセスで「力」を蓄え、大きくジャンプ(成果)する。  
その後も自走できる実力をつける。

# 活動を持続的に行っていくために

---

## 助成金をきっかけに

- ①コストを下げる
- ②自分たちでできるようになる
- ③活動の仲間を増やす
- ④連携先・協力先を増やす
- ⑤応援者を増やす
- ⑥参加者を仲間にする
- ⑦実績をつくってアピールする
- ⑧積極的に情報発信を行う

地元で／インターネットで

# 助成事業による良い効果

## 【団体内への影響】

- ① 社会実験(仮説)の実証
- ② 事業規模・財政規模の拡大
- ③ 会費や寄付の増加
- ④ 担い手や協力者の増加
- ⑤ 担い手の力量(質)向上
- ⑥ 団体の認知度や信頼度の向上
- ⑦ 他の助成金の獲得
- ⑧ 行政との関係構築、委員、講師、協働、業務委託、指定管理等
- ⑨ 新たな支援者の獲得

## 【社会や地域、対象者への影響】

- ① 社会のニーズ・課題の周知啓発
- ② 事業の対象者・受益者のエンパワメントや社会参加
- ③ 市民の社会貢献の機会提供
- ④ 地域の協力体制の構築、関係作り
- ⑤ ノウハウや情報の共有・発信
- ⑥ 他地域、他団体が同事業を実施
- ⑦ 行政でモデル事業化
- ⑧ 行政で施策化、制度化

## 【自主財源の構築】 ★次年度以降の自主財源率向上を目指す

- ① ビジネスモデル化
- ② コンサルによる収入
- ③ 知見やノウハウの価格設定と提供
- ④ 他地域展開モデル
- ⑤ 成果物の販売
- ⑥ セミナー・研修会のパッケージ化

# 自主財源や事業収入化の構築

## 【方法】

サービス構築  
ビジネスモデル構築  
寄付モデル構築  
協賛事業  
コンサルティング  
ノウハウ価格設定  
他地域展開モデル  
成果物の販売  
研修パッケージ  
講師派遣  
協働  
補助事業  
制度事業  
業務委託



## 【準備】

実証実験  
事業の記録  
ノウハウの記録  
事業の発信  
ノウハウ等の成果物報告会の開催  
成果の共有



## 【対象】

参加者・受益者  
一般市民(寄付者)  
企業(顧客)  
企業(寄付者)  
行政  
教育機関  
NPO

# あらためて助成金を考える

---

## お金以外の助成金の価値、助成金の意義

- 自分たちの団体・事業が他人に認められたということ
- 助成金は単なるきっかけ、このきっかけをどう活かすか
- 団体内のモチベーションアップ、スキルアップに
- 「助成事業」という名のキャンペーンを通じて、自治体関係者、公益分野関係者、助成機関関係者等に、団体の周知を図る

## ★助成金を情報として活用する

# インターネットによる変化

---

誰もが情報発信出来る時代になり、情報開示が当たり前

→助成機関のアカウントビリティ(説明責任)として、助成先団体による情報開示も求められている

リアルタイムの情報発信に

→Webで事業の進捗段階から情報発信する形へ

情報発信も量から質の時代へ

→質のよい情報発信が必要、助成機関も助成先団体も

# 助成金という情報

---

助成金を「情報」として捉え、その情報をどう活用するか？

そのために何をすればよいか？

- ①助成金が決定したら
- ②事業の準備を始める時に
- ③事業の進行中は
- ④もしイベントをするなら
- ⑤事業が完了したら
- ⑥次の助成金申請に向けて

# 助成金とは・・・

樹木は育成することのない  
無数の芽を生み、  
根をはり、枝や葉を拡げて  
個体と種の保存にはあまりあるほどの  
養分を吸収する。

樹木は、この溢れんばかりのの過剰を  
使うことも、享受することもなく自然に還すが  
動物はこの溢れる養分を、自由に  
嬉々としたみずからの運動に使用する。

このように自然は、その初源からの生命の  
無限の展開にむけての秩序を奏でている。

物質としての束縛を少しずつ断ちきり、  
やがて自らの姿を自由に変わっていくのである。

**“デンマーク王子アウグステンブルク公にあてた  
美学的なことに関する書簡第27号より一部を抜粋”  
フリードリヒ・フォン・シラー**



横浜／ランドマークタワー